

けがをした！どうしたらいいの？ 歯の外傷発生時の対応



はじめに

障害のある人は、運動機能の障害や発作などが原因の転倒により、歯が欠けるなどのケースが多々見られます。今回は、このような事態に遭遇した場合のケース別対応についてご紹介します。

ケース①

歯がぐらぐらになった！位置がずれた！

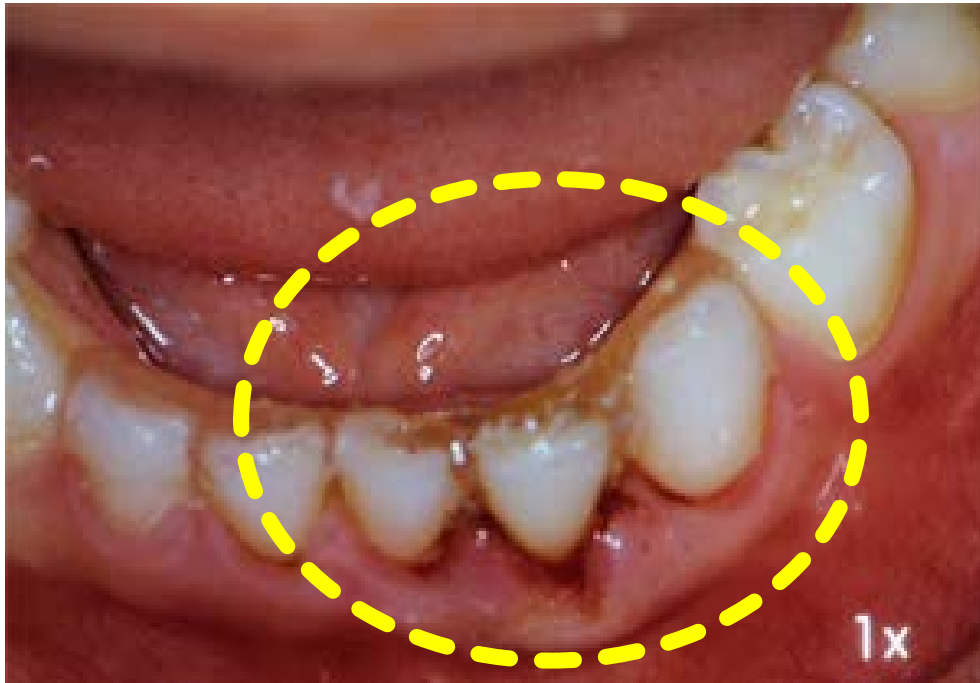


**公園で遊んでいる際、遊具にぶつかり
乳前歯が前方にずれる。**



参考資料：歯とお口のことなら何でもわかる テーマパーク8020

ケース①の対応



ずれた歯を元の位置に戻して、
内側から固定したところ。

軽度の動揺の場合は、受傷した歯
をできるだけ安静にして様子を見ま
すが、ケースのように位置がずれた
場合は、歯を元の位置に戻し、両
脇の歯と連結し周りの組織の回復
を待ちます。



ケース②

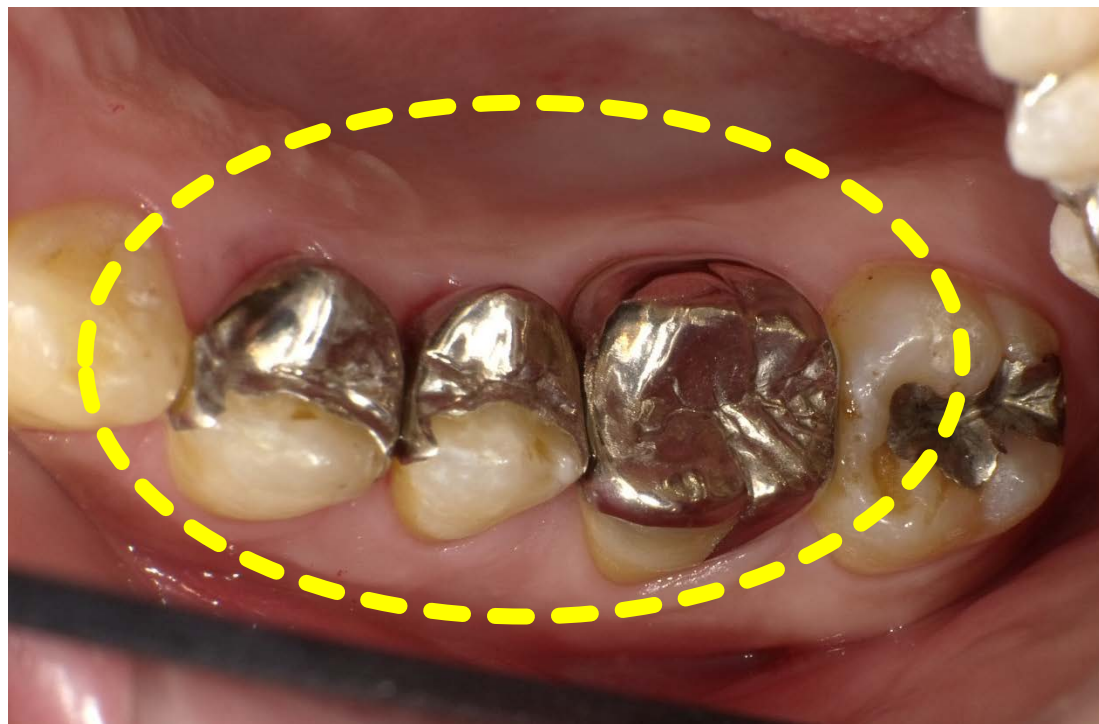
歯が欠けた！（破折）



玄関先で発作により転倒。下あごを強打し50針縫う。
事故から3ヵ月後の定期歯科健診で右上の奥歯3本が
欠けていることを発見。



ケース②の対応



歯のレントゲンを撮り神経に
問題がなければ、歯が欠けた
ところは銀歯や冠をかぶせる
処置をします。



ケース③

歯が折れた！（破折）



神経が見えている

家の中で兄弟と遊んでいた際に
転んで上の前歯を破折。



欠けた歯の半分

ケース③の対応



歯の中の神経が見えるほど大きく折れてしまった場合には、歯の根の治療が必要になります。

神経の処置をしてから、歯の形を審美的、機能的に修復。



ケース④

歯が半分折れた！（破折）



転んで引き出しに強打。
歯の根が歯ぐきの中に残ったまま、
歯の上の部分の乳歯が折れた。



レントゲンで歯の根が歯ぐき
の中に残っているのを確認

ケース④の対応

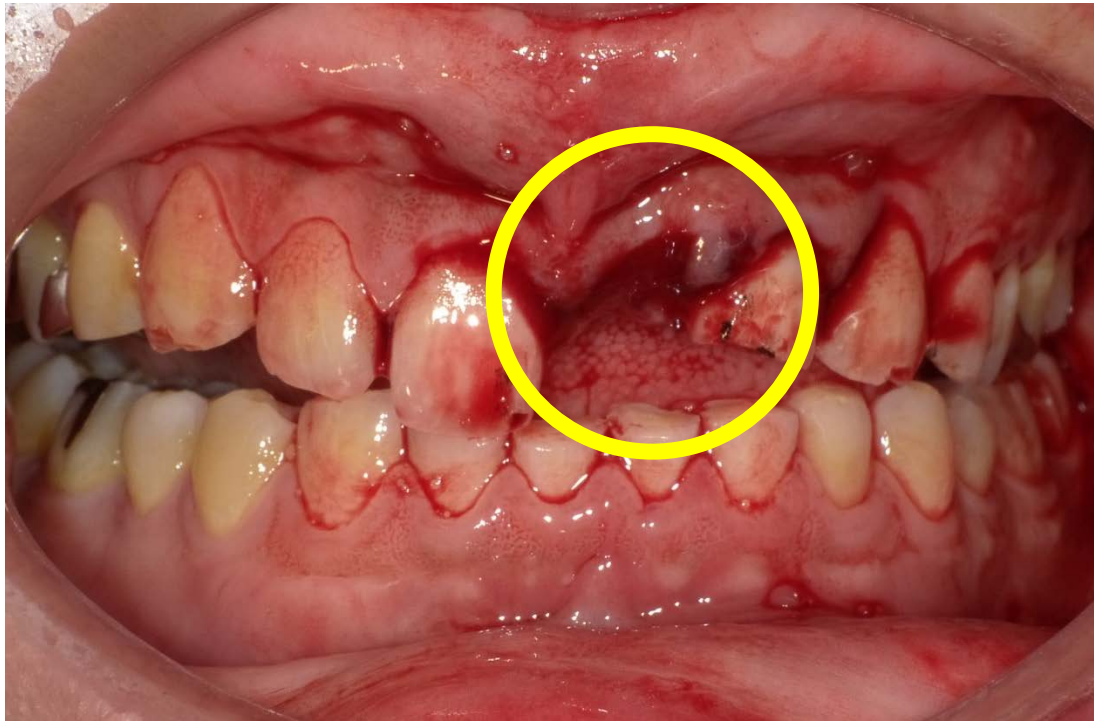


後から萌えてくる永久歯に影響
が出ないように、残った歯の根
の抜歯しました。

歯ぐきの中に残った歯の根を抜歯



ケース⑤ 歯が抜け落ちた！（脱落）

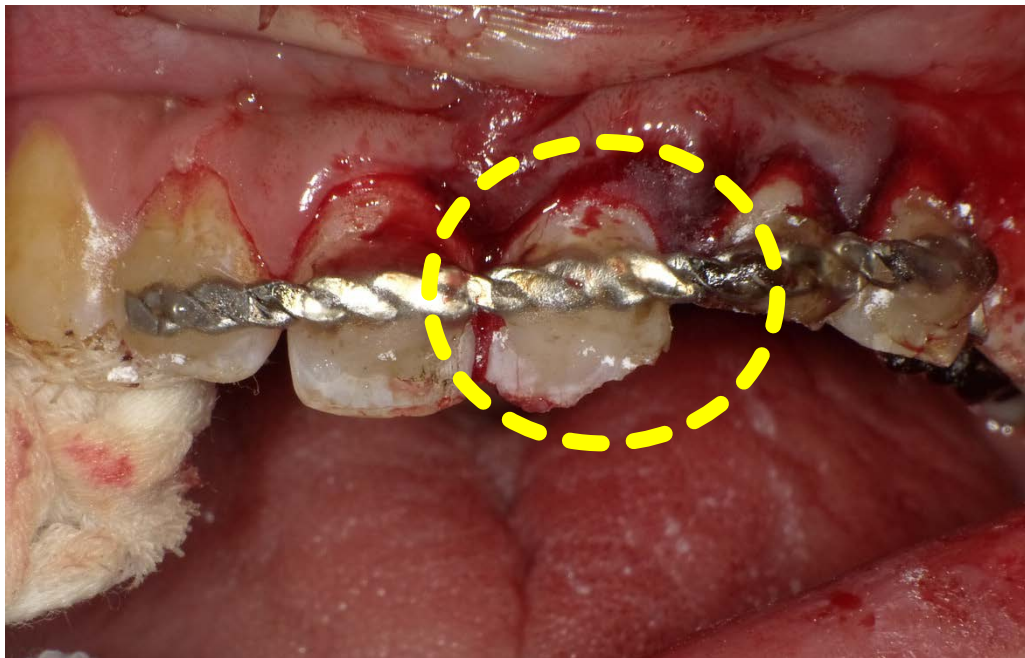


母親のガイドで歩行中、発作による転倒。前歯を脱落。
母親が脱落した歯を一緒に持って受診。



ケース⑤の対応

歯が抜け落ちた場合でも、適切な対応と条件により歯を元の位置に植え直すことができます。



一般的に歯の組織が生きている短時間のうちに再植すると予後が良いと言われています。

再植し固定を行ったところ



再植のポイント

抜けた歯は捨てずに歯科に持っていきましょう。その際、水道水で抜けた歯を洗ってしまうと再植できません。
牛乳か歯の保存液に入れて受診して下さい。

水道水



牛乳



歯の保存液



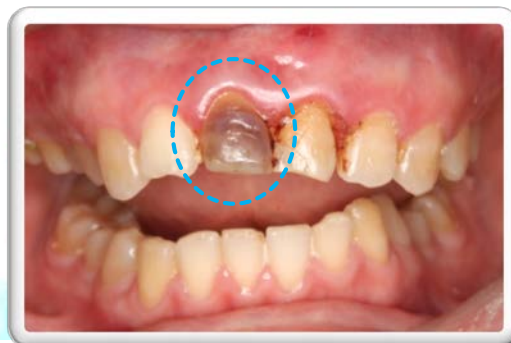
学校の保健室には
歯の保存液が常備
されていることが
あります。





おわりに ケガをした歯の「その後」

ぶつけた直後は症状がなくても、後から歯の変色やトラブルを生じることがあります。また、乳歯のケガの影響が、その後の永久歯に出る場合もあります。定期的に受診し、経過観察していくことが大切です。



徐々に歯の色が黒変してくることがあります。